

【令和6年第4回定例会 まちづくり委員会委員長報告資料】

令和6年12月13日 まちづくり委員長 矢沢 孝雄

○「議案第171号 川崎市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（まちづくり局に関する部分）」

《主な質疑・答弁等》

\* 指定確認検査機関及び本市による確認済証の交付件数について

令和5年度の指定確認検査機関による確認済証の交付件数は5,038件である。本市での交付件数は89件で、うち71件が国及び県等の公共建築物の工事に着手する前に、建築確認に代えて、建築計画を建築主事等に通知する計画通知の手続となっている。

\* 本市への確認申請の内容について

本市への確認申請については、既存建築物の増築及び用途変更等の複雑な内容の案件が多い。

\* 法改正に伴う本市建築物の計画通知の手続に関する庁内周知について

法施行前の10月下旬に各施設所管課及び工事発注部署を対象として庁内説明会を開催した。説明会において、法改正に伴い指定確認検査機関による審査及び検査等が可能となるが、職員の技術力の維持のため、平時においては引き続き建築主事に通知するよう依頼した。

《意見》

\* 宅地造成等規制法の改正に伴う条例改正には賛成であるが、計画通知において指定確認検査機関による審査及び検査等を可能とする建築基準法の改正に伴う条例改正は認めるべきではないと考えているため、本議案には賛成できない。

《審査結果》

賛成多数原案可決

○「議案第176号 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」

《意見》

\* 計画通知において指定確認検査機関による審査及び検査等を可能とする建築基準法の改正に伴う条例改正は認めるべきではないと考えているため、本議案には賛成できない。

《審査結果》

賛成多数原案可決

○「議案第177号 川崎市都市計画法に基づく開発許可の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第178号 川崎市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について」

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第179号 川崎市駅前広場占用条例の一部を改正する条例の制定について」

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第180号 川崎市準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について」

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第181号 川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について」

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第192号 川崎市緑化センターの指定管理者の指定について」

《主な質疑・答弁等》

\* 指定管理者選定における応募状況について

株式会社石勝エクステリア及び公益財団法人川崎市公園緑地協会の2団体が指定管理者選定に係る応募団体向け説明会に参加していたが、両団体が1つの事業体を構成し、応募があった。

《意見》

\* 複数団体の応募により、競合する中で指定管理者の選定が可能となるよう取り組んでほしい。

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第193号 川崎市営霊園の指定管理者の指定について」

《主な質疑・答弁等》

\* 建設緑政局民間活用事業者選定評価委員会委員の構成及び選定理由について

幅広い分野において専門的に審査できるよう、学識経験者、公認会計士及び社会保険労務士が委員となっている。

\* 本市営霊園の運営における課題について

墓地に対する価値観の多様化に伴う様々なニーズへの対応や、公園緑地としての魅力向上を図る必要があると考えている。

\* 指定管理者選定において応募があった団体における本市営霊園での運営実績について

本選考で応募があった川崎市営霊園メモリアルサービス及びアメニス川崎霊園管理事業体については、本市営霊園での運営実績はない。

**\* 指定管理者選定審査において実績評価に関する点数に差が生じた理由について**

指定管理予定者の代表者である株式会社日比谷アメニスは相模原市及び横浜市での運営実績があったため、選定されなかった川崎市営霊園メモリアルサービスより高い点数となった。

**\* 指定管理者のモニタリングで着目すべき点について**

個人情報及び金銭等の管理のほか、市民アンケートを基にした社会ニーズの的確な把握が重要であると認識している。

《意見》

\* 高齢化により霊園の需要が増大しているため、指定管理者の選定においては専門性の高い委員により指定管理者選定を実施してほしい。

\* 高齢化に伴う墓地需要の増大及び墓地への価値観の多様化に対応できるよう運営してほしい。

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第194号 市道路線の認定及び廃止について」

《審査結果》

全会一致原案可決